

第6回 新居浜市山田社宅保存活用検討委員会 会議録

日 時：平成27年3月20日（金）10：00～11：50

場 所：新居浜市役所4階 41会議室

出席者：委員 8人

欠席者：委員 2人

事務局：別子銅山文化遺産課 秦野課長、濱岡係長

傍聴者：2人

議題：（委員自己紹介）

1. 委員長、副委員長の選任
2. 山田社宅の活用方策について
3. 次回企画展の内容について
4. その他

開会

（事務局）：ただいまから、第6回新居浜市山田社宅保存活用検討委員会を開催します。

年度末の御多忙な中、皆さんにお集まりいただきありがとうございます。

まず、会議の開会前に、この会が公開で行われ議事録も公開されることについて皆様の御承諾をお願いします。また、本日、愛媛新聞、ハートネットの方が傍聴に来られていることについて、お知らせします。

次に、議題1に進みます。新委員に更新（H26.10.1～任期開始）されて、初めての委員会となるので、委員長、副委員長を選任します。

山田社宅保存活用検討委員会設置要綱第4条の規定により、委員長1名、副委員長1名の選任をしていただきたいと思います。どなたか御意見ございませんか。

（各委員より事務局に一任）事務局から推薦したいと思います。委員長には前期に引き続き、河野委員、副委員長には近藤委員をそれぞれ推薦いたしますが、御意見ございませんか。

なければ、近藤委員は本日欠席されていますが、事前に本人に了解を得ています。委員長よろしくをお願いします。

【委員長・副委員長を決定】（近藤副委員長 欠席）

河野委員長 今、御紹介いただいた河野です。委員になってあまり何も進まないままと感じており、保存活用検討委員会について考えると、保存と活用ということなので不易と流行という事ではないか。変えてはいけないものと新しいことをやっていこうということを考えればいいのではないかと思います。鷲尾さんの考えにも近いものがあると感じました。いろいろネックがあって進みにくいですが頑張りたいと思います。自己紹介を兼ねて御挨拶とします。

それでは、まずは、新委員に更新されて初めての開催ですので、皆さん、簡単に自己紹介をお願いします。

【各委員 自己紹介】

河野委員長：ありがとうございました。

では、次に議題に入ります。議題2、山田社宅の活用方策について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 秦野：御存知の方もおられますが、新委員さんもいらっしゃいますので、これまでの経過を簡単に御説明します。

【経過説明】

山田社宅については、平成22年4月に住友共同電力株式会社から2棟の寄贈を受け、市で管理。22年度から、この委員会を設置して、保存活用などについて協議いただいた。委員会はこれまで、5回開催し、すでに社長宅は一般の方に開放されている。

毎年2回程度の企画展を実施しているほか、惣開公民館の地域学習等で利用いただいている。これまで、利用方法等、保存活用に関する御意見をいただいているが、ピックアップすると、まず、これまで一番多かった意見が、山田社宅自体を知らない人が多いことから、まず知ってもらってたくさんの方に活用してもらう。それから利用活用の方法についての課題が第一点にある。次に、鷺尾さんの功績による社宅なので鷺尾勘解治氏を顕彰していくのもひとつの方法であり、そうした事が次のステップになってくる。保存活用については、新居浜市、市民の方々、住友関係各社、さまざまな意味で別子銅山をアピールできるメリットがあげられていた。河野委員長、近藤副委員長さんをはじめ、作務による草引きなど管理面でも協力いただき、それらも含めて保存活用には管理面での御協力も必要ではないかという御意見もあった。また、市がどう使っていくかを住友グループも見ているし、社宅を大事に保存していくのが必要。そのほか、社宅で育った人で、東京や大阪にいる方などは、山田社宅が撤去されることはふるさとがなくなるという思いもあり、保存活用が必要で、また訪問してもらいたい、などの意見。具体的な利用方法として、高齢者研修施設、個人芸術活動支援、旅館、コミュニティレストラン(ワンデイシェフ)、貸しギャラリー、星越駅舎と連動した資料館、小学校に残っている鷺尾さんの書画の展示、貸館などが意見としてあった。

活用方策についての経過のほか、社長宅の利用促進は図られているが、監査役宅については、現在開放されておらず、これからのことなので検討課題としてきた。昨日、市議会も終了し、来年度は監査役宅の消防設備等についても予算確保しているので、来年度の活用方策について検討のため、お集まりいただいた。ここで提案ですが、活用促進を図るため、益友会の方に利用いただき、講座等の活動の場として利用いただくのもひとつの方法と考えています。以上です。

河野委員長：ありがとうございました。事務局から監査役宅の件と予算について提案があったが、これについて何か御意見ををお願いします。

横井委員：これまで山田社宅を知ってもらうということで企画展等の取組みやまちづくり総合整備計画などを策定し進めてきた経緯があるが、ここ数年は社宅を取り巻く環境が大きく変わってきている。それをふまえて社宅の今後のあり方を考える必要がある。鉾山所長宅もかなり古くなってきている。古いため交番も撤去された。先日は手前にある小さい社宅で管理などしていた社宅も壊された。もう(古くて)もたない。人や犬や猫も入ってきたり防犯上も悪い状況であり限界に近い。また、鉾山さんが駅舎も改修されているが、活用方法はまだ聞いていない。

それらを合わせて、考えていくうえで、選鉱場の跡地や太鼓橋、星越トンネルなどの付帯物を山田社宅と一体的に、動線とかも考えなければいけない。どう整理するのか大事。

今後、監査役宅の使用を進めるのは良いが、駐車場がないのが問題。仮に益友会が使用されていても、現在は惣開公民館で地域学習など活用しているが、利用がなかなか増えていないのは駐車場の問題がある。企画展などのたびに鉱山さんをお願いしているが、駐車場は遠い場所。根本的にこれでは利用するのも現実的に難しい。社宅を知ってもらうという継続はもちろんだが、新たなステップを踏み出す必要がある。

河野委員長：何が御意見ございませぬか。駐車場がネックになる。越智委員さんどうですか。

越智委員：自分たちも利用する時に車をどこに止めたら良いのか困る。足の悪い方々は利用が難しい。どれくらい社宅が減っているかをいま初めて知った。数の把握をして、全体的に見直すのが良いと思う。

河野委員長：この検討委員会を引き受けた頃とは現在は状況が変わっている。

藤縄委員：新須賀の鷺尾さんの家も書斎や戸棚も残っていたし、ひとつの遺産として残したら良いと思っていたが、どんどん壊れている。鷺尾さんの家は新居浜市へ寄附されたが、家が壊されてから土地だけ寄附だった。もう少し宣伝して、新居浜市の人たち自身が価値を感じるようにならないといけない。情報を流していったら良い。壊してしまうと終わり。なるべく遺産としてとどまる形とれたら良い。

河野委員長：藤縄委員は建物造詣が深いので、壊すよりは何とか残すことができないかということで、我々に示唆していただいている。自彊舎跡地は建物の面影が残っていない状況。建物を寄附いただいた時に、市民にPRし、どんなふうを活用するかという雰囲気になってから壊すのなら、と。川東の藤田家もそうだが、物というのは壊してしまえばもとには戻らない。かなり慎重に、と思う。除幕式の後に新居浜市の文化的意識が低いと感じるという話をした。鷺尾さんの記念の地なので、カラムレンガを使ってほしかったという人もいた。これぞ住友というものを残すために、市民からも意見を聞いてほしかったという感想を聞いた。生野銀山の朝来市は、建物を多く使って観光などで市民が活用している。これは市民全体の意識。新しい局面を考えないと。山田社宅もだいぶ変わってきた。社宅街の本では、日本で社宅の街並みが残っているのは・・・というふうの本で宣伝してくれている、という町だという意識もって保存していかないといけない。

藤縄委員：保存にはお金がかかる。タダではできないし住友まかせでもいけない。広瀬邸は残って活用されている。お金をかけて後世に残していくこともしないといけない。

河野委員長：思っていた意見が出そろった。活用については、まずは駐車場問題。次に、お金の問題。お金をかけても、市民の心の糧になるようなものになるよう市民の意識を高めないといけない。こんなものにお金を使ってと言われぬようにしないと。

鹿森社宅へ行った時に訪れていた人から質問され、御礼の電話の時に、トンネルの写真などは涙が出るほどなつかしい。おそらく、山田社宅も出身の人たちにとっては大事な場所だととらえて保存活用の必要があると思う。矢野委員どうですか。

矢野委員：自分も惣開小学校出身であり、山田社宅には同級生たちが住んでいた。当時からだいぶ古くなっていたという話を聞いていた。保存にはお金がかかることで、個々の場所で保存していくのは大きなコストがかかる。場所にこだわらずにある程度1か所に集めて駐車場もつく

って というように、移築という方法もあるのでは。現在市外に住んでいる出身者に話を聞くと、愛着はあるようだが、建物が当時から古かったことや、一般の社員の社宅など環境面であんまり良い印象がないと聞いたこともある。写真などではなつかしいようだが、わざわざ見に戻ってくると ということはないかもしれない。

横井委員：同窓会をしたが、山田社宅出身者の人はふるさとがなくなるという意識がかなり強くなっているとも聞く。年をとるとボロさでさえなつかしいとも思うようだ。

河野委員長：西中学校の保護者でも住んでいた人に聞くと、すきま風やムカデが出るというマイナスのイメージもある。逆に、山田社宅に住んでいたお年寄がなつかしいので見に来ていた。惣開小学校の生徒が歩いていたことなどなつかしように話していた。いろいろな立場の人が訪れていると思う。移築して集約するという案も出ているが、東平では長屋の骨組みを残していたが、藤縄委員さん、費用としてはだいぶかかるのですか？

藤縄委員：そんなにお金はかからない。東平の長屋のモデルも以前スケルトンで、基礎は元の状態を使用して残していた。屋根をつけていなかったのが雪で腐ってしまった。(現在は形は残っていない) 屋根をかけると長持ちする。

河野委員長：何を残しても、そのことを説明できる人がいないと難しい。旧別子もガイドも何もなく歩くだけだとただの山登りになる。例えば、ダイヤモンド水についても解説をすると印象深くなるように、山田社宅も鷺尾さんが生垣や板べいにした意味などを説明できる人がいて初めて意義が伝わる。できるだけ座談会のようなことができれば良いと思う。

駐車場ができれば、グループをつくってそういうことを話せる機会ができると思う。

高須賀委員：河野委員長が言われていたが、藤田邸について、残すか壊すかという時に打診いただき、結局壊すことになった。保存したら良いという意見もあると思うが、保存や管理には、新しく作るよりも継続的に管理の費用がかなりかかる。公開するとなると、古い建物なので、構造的に耐震補強などさらに多くお金がかかる。それを市が全部工面するのは、現在の財政状況を考えると現実的に難しい。また、古くなって所有者が管理できないというものについて、市へ移管の話がくる状況。まず、予算確保を考えないと難しい。山田も22年に寄附を受ける以前は、生垣剪定も定期的に行われていたが、寄附以降は、生垣も壊れ木も生い茂っているなど、入ってみたいと思わなくなり、ますます予算もつきにくくなるという状況。非常に残念なので、剪定予算も必要であると思うが、お金がかかる事が大きな問題。

(事務局)：剪定予算は市では年1回分しか予算がない。

高須賀委員：御存じのように、建物は毎日使用して風通しもあると古くならないが、ずっと締め切ったままで年に数回使用では、木造はみるみる傷んでくる。監査役宅も継続的に使用してもらうのが大事である。

(事務局)：寄附から5年たつので、限界だということで今回監査役宅の活用について提案させていただいた。

高須賀委員：建物のためにも利用することが良い。

河野委員長：空き家のまま置いておくのはいろいろな面からも良くないという事情はよくわかる。普段から委員長、副委員長として自分たちでボランティアとして庭の芝刈りをしたりしている。生垣の前に水路がある所は危なくてできないが、せめて他の社宅と同様にちゃんとしたい。ちゃんと管理していれば住友へもプレッシャーになる。会社も寄附したが壊れかかっているで

は・・・ボランティアの仲間を増やすことだと思う。えんとつ山倶楽部では中学生や民間企業の人などがボランティアをしている例もある。剪定の予算は2回にならないか。

(事務局)：努力してみます。

横井委員：谷中のお掃除隊という例があり、最初は小さな運動から始めて全国的にも有名になった話がある。山田社宅でも見習ったら良い。市は危険な個所を、ボランティアでできる所をやるなど定期的にできたら良いと思う。

河野委員長：やっぱり駐車場がネックである。私も遠くに住んでいるので車で行く。駐車場があれば利用しやすいし、ボランティアも行きやすくなると思う。最初に借りていた駐車場も使えなくなった。現在企画展の時などは住友も協力してくれて、ゴルフ場の駐車場を貸してくれている。

藤縄委員：社長宅の東側は貸してくれない？

(事務局)：企画展等で借りようと打診したが、基本的に柵をかけている所は使用できないこととなっている。ゴルフ場の駐車場をお借りしている。

河野委員長：寄附された社宅の前の辺りが駐車場になると理想的だと思う。

高須賀委員：県道ではなく通路にラインを引いて何台かは確保できるかもしれない。

河野委員長：どこで管理している道路かもわからないので、見学者には利用の度に工夫して駐車している状況。

藤縄委員：あの道路は県道？

高須賀委員：金子中萩停車場線は県道で、川沿いの道路は途中までは市道で、他は住友の私道。

市道として道路が抜けているわけではない。車はけっこう走っているので、公道に近い状況。

(事務局)：道路として使われているが、惣開小学校を抜けて、マンションの区間は住友の敷地内。

高須賀委員：途中からは私道となっている。

藤縄委員：西洋社宅の横は？

高須賀委員：通路です。

河野委員長：寮への道は私道？

藤縄委員：西洋社宅を西へ行く道。

高須賀委員：私道。

河野委員長：ライン引いて車を置かせてもらえるようなことができれば、便利になると思う。以前は県道を横断しないといけない。車はけっこうスピードを出しているのでお年寄りには危ない。駐車場とお金の問題が一番の課題なので、何とかしないといけない。山下委員、何かアイデアありますか？

山下委員：今年から産業遺産を担当するようになり、委員になってから初めて山田社宅に行った。市民などでも知らない人、意識していない人もいる。単体の施設で何とかできないという事もある。前任から引継ぎを受けた中でも、星越駅、太鼓橋、トンネル一体として周遊できるようにして学習できるエリアとして公園にしてもおもしろいのではないかと思う。建物の保存については維持管理費もかかるのできびしいと思う。

河野委員長：監査役宅は来年度から一般でも使用できる予定。山田社宅は建物内もそんなに古くはない。社宅として一番最後の方にできた建物。屋根も吹き替えし庭も整備しており、立派な家である。以前、公民館で地図をつくったりした。越智委員、どんな活用だったかお話ししてほ

しい。

越智委員：惣開公民館で「未来への鉱脈」探検マップを作ったが、校区を越えて若宮の工場の方までを含んで、川西校区でも西に位置する産業遺産をまわってスタンプラリーできるように、地図や当時の写真と古い写真を掲載している。10年ほど前なので、それから無くなった建物もだいぶある。小学生も参加してもらいワークショップを何回か実施した。

河野委員長：西中では10年以上以前から、総合的学習で別子銅山について学習することになっており、今も続いている。テーマとして山根、山田について説明付で勉強している、星越選鉱場に私もいましたので、毎年子供たちを駅舎まで連れて行って山田社宅の歴史と一緒に説明をした。越智委員がつくった地図が大変有効活用されている。いまは惣開く小学校の5年生が保護者と一緒に毎年決まったように休みを利用してスタンプラリーで使っている。そのように活用はされている。取材があまりなく宣伝が十分されていない。駅舎もきれいになったが来ている人もそんなにいないのでは。

(事務局)：多少問い合わせもあって見に行かれています。

河野委員長：駅舎の出口が社宅側についているのはなぜか、会社の駅だから、という事などを皆に話したら良いと思う。

藤縄委員：CMで産業遺産を使っているのがあるが、えんとつ山は使われているが、選鉱場は使われていない。

(事務局)：えんとつ山は市の管理なので。

河野委員長：甌穴など意識してくれないと、子供たちが意識して勉強しないので。

とにかく駐車場で良いアイデアがあればお願いします。

横井委員：山下委員の意見や昨年の市役所の職員提案にも出したが、惣開、星越は国内有数の産業遺産集積地であることを、市民も職員もどれくらい認識しているか。それによって投資費用がかかってくる。別子銅山産業遺産が大事だと皆さんおっしゃるが、どこまでそれに対してお金をかけられるかどいうのがある。駐車場に対してもどこまでお金を出せるかというのがないと、堂々めぐりの議論となる。せめて、積算をした上で、できるか無理かという話にもっていかないといけない。

あと、なぜ駅舎の入り口が社宅側を向いているという事も含めて、山田社宅の意義について、お金をかけずに常設展を設置することもやってみて、企画展も続けてやっていくという事が必要だと思う。

河野(み)委員：一昨年ですが、新居浜の魅力を発見しようという事で、バスを借りてお茶を出すなどの見学ツアーを市民を対象に募集してNPO法人で実施した。ガイドも付いてくれてお得なコースだった。アンケートでは、普段は入れないのに見学できて良かった、という感想もあった。まずは、駐車場なくてもできることから取り組むこともできるのでは。マップや、子供たちのワークショップなど、地道なところから始める。そして、同時進行で横井委員のような積極的方策を始める。

河野委員長：駐車場がなくてもできることはしたらどうかという意見。ツアーに参加された方は喜んでいただいた。山田を使っているいろいろ考えられることはある。また次回も2回目を早目に開けるように。いろいろ(活用について)考えようという気持ちで来ていただくのが良い。

まずできそうな事は、縦列駐車でも確保できるようにすること。それから、バスツアーなどを

実施することもできるのでは。朝来市もそういう事が多いと思う。あとはお金の問題がある。今度予算化されているのはどのくらいか。

(事務局)：予算は、監査役宅の消防設備、門扉修繕、カーテン設置について来年度要望している。

河野委員長：集会所ということで、防災カーテンじゃないといけないなど、そういう事でもお金がかかる。横井委員が言われたように、自分たちで努力してできることが必要。管理面でも仲間を増やしてやることも大事なので、また近藤委員とも相談して頑張りたい。

横井委員：活用として教育委員会で考えているのは、子供たちのふるさと写生大会を山田社宅で開催することや、現在実施している市民歩け歩け大会の派生事業で、健康ウォークとして、福祉の関連で広瀬邸周辺と図書館から惣開、星越界限とを合わせて産業遺産などを案内しながらまわる企画がある。これらも各団体が実施してくれたら良いと思っている。

河野委員長：最初の頃の構想では、山田で例えば若者塾を開講するとか。簡単に集まって話をする場所として使えるなど、活用方法はあると思う。

横井委員：以前に開催した住友鉱山OBの座談会がとても良かった。

河野委員長：鉱山のOBの方に図面を使って現場の話をしていただいた。

監査役の活用については、設備の整備が完了次第、益友会の方に優先的に活用いただくという事でよろしいか。

(各委員 了承)

横井委員：益友会はどのくらいの頻度で使用予定か？

(事務局)：自彊舎ニュースなども不定期に発行されている。ゆくゆくは、山田社宅でも講和などをしていただいたら良いという話をしている。

横井委員：監査役宅は、入ってすぐに船底天井の和室があるなど、ユニークな建物となっている。共電の和風の催しでやられていた感じもある。益友会も交際範囲の広い方が多いのでうまく使っていたらと思う。

河野委員長：一度、山田社宅2棟について、和風建築としての価値について一度説明してもらえらる機会があればお願いしたい。今後の説明の材料にもなる。

藤縄委員：わかりました。

河野委員長：次に、議題3. 次回企画展の開催内容について、事務局から説明があります。

(事務局)：これまで企画展として、「記憶の継承」、「住友相撲」、「鷺尾勘解治展」も実施してきた。それぞれ特徴のある企画展だった。山田社宅の常設展の意見もある。企画展としては、今後の案として、例えば鹿森社宅をピックアップしようとか、「社宅の暮らし」をテーマに、鹿森社宅、東平社宅、川口新田社宅のくらしがわかるような写真パネルの展示や、他の案として、他に、前回好評だった住友相撲についても再度開催したら良いと思っている。

事務局としては、委員の皆さんからの意見をある程度ストックしておいて、今後順次開催したいので、何か良い案があれば。

河野委員長：郷土美術館に今ある石の標本は、愛媛県内でも価値が非常に高い資料。別子銅山の石があつてこそ新居浜市が発展したので、もっと大切にしないといけない。鷺尾さんの山田社宅を活用して常設展示してほしい。ぜひ子供たちの学習にも使ってもらいたい。

横井委員：郷土美術館は、防災施設整備のため壊す予定。郷土資料は、石は新居浜市の宝なので、残す方向で検討中。自然科学分野は県科学博物館等とも協議しながら保存展示について検討中。

河野委員長：専門家の意見は聞かないといけない。収蔵品は定期的に展示してほしい。小中学生の学習材料として有効活用してほしい。

横井委員：収蔵数と展示スペースの問題がある。専門分野の人の意見も聞きながら検討したい。

山田社宅での展示については、展示に対応するなど施設整備の課題がある。

河野委員長：収蔵品等すべてにおいて市民に公表し意見を聞くなどして誰もがわかりやすいよう取り組んでほしい。議題3については、良い案があれば、どうぞ。

(事務局)：後日の提案でもかまいません。

河野(み)委員：住友の社宅の人々の暮らしについての写真の展示はおもしろいと思う。

河野委員長：社宅の暮らしの写真は、ほとんど日和佐さんの写真で、鹿森、東平の写真がある。愛媛新聞の過去の記事で、「別子あの日あの頃」という社宅関連の詳しい内容で、日和佐さんの写真を使うなど約20回連載で取りあげられた。今回は、鹿森社宅をテーマにということだが、良いかどうか。

河野委員：山田社宅の(写真は)残ってないのか

河野委員長：山田社宅の出身者は都会へ転勤した人が多いので、あまり残ってない。

横井委員：日和佐さんの御家族が山田に住んでいたなのでその写真はあるが。

河野委員長：日和佐さんのは、新田、鹿森、東平が多い。山田はあまりない。写真としては、鹿森や東平の方がおもしろい。

(事務局)：企画展について、案があれば事務局まで知らせてください。

河野委員長：すぐできる内容もあれば、準備が必要なものもある。好評だった住友相撲の第2弾は、持っている人を探さないといけない。1回目は知り合いを中心にしたので集まった。案は事務局へお知らせいただいて、次回内容は事務局にも相談しながらしたい。

(事務局)：委員長、副委員長と相談しながら取り組んでいきます。

河野委員長：社宅は他にも川東にも多くあったと聞いている。社宅で会をつくっているというのもあまり聞かない。四阪島の一島一家会がある。東平は異質集団。管理職もいれば、一般社員もいた。鹿森は等質集団でまとまりも強い。2件だけ幹部職員だったが、あとは全て平社員。

矢野委員：山田社宅に住んでいた人は転勤してほとんどこちらに残っていない。

河野委員長：西中出身で、山田社宅にいたという都会の人から電話がかかってくるなりして案内したこともある。

矢野委員：四阪島からの転勤は新田社宅、前田社宅は地元が多い。山田社宅はほとんど今はいない。

河野委員長：山田社宅は、地区外の人が歩いたりすることはあまりなかった。他の社宅、山根東社宅など自由に出入りをしたこともあった。では、次の議題、規約についてです。

(事務局)：次に、利用規約について、課として作成しているものがある。お気づきのとおり、時間や基本的事項を書いている。利用上の注意として山田社宅に掲示して、利用者がお互いに気持ちよく使えることが必要。項目の中で平成27年度に監査役宅を整備した後、再度整理もする。利用上の注意として、利用後の清掃なども記載している。委員長の提案で、利用後に区画割りして草引きをすとか、作務でボランティア作業をしたというだけでも、鷺尾さんの山田社宅ということで利用活用促進につながると考えている。昼の日焼け防止などのため、カーテン設置予定なので、使用後はきちんとしめることなどの注意事項を記載している。

河野委員長：利用前と利用後が同じ状態になるようにという事。展示パネルが利用したままの状態
で置かれていたこともあったので、元の場所へ返したという事があった。

時々行って清掃したりもするが、皆さん仕事を持っているので、ぜひ周りにも宣伝してほしい。

山田社宅は簡単に利用できるという事で、皆さんに使っていただきたい。

河野(み)委員：以前に同窓会をした時に、バスツアーを募って東平から昭和通りなど各ポイント
でガイドをしながらまわった。山田社宅に降りた時、当時住んでいた人がなつかしがあった。最後
に、住んでいた人が山田社宅に遊びに来ていた。製造の末端で父親が働いていた。現在は介護
を受けているが、父親を連れてきたかった。父親の仕事に当時はあまり関心がなかったが、山
田社宅を見学したことによって、父親を尊敬できた。このような同期会でも紹介できる機会に
なると思ったので、ぜひ皆さんもお知らせしてほしい。

河野委員長：たいしたことではないと思っている人もいると思うが、住んでいた人にとってはな
つかしいものだ。鹿森のトンネルの写真一枚で父親の仏壇に祀って報告したという話も聞いた
りして、我々はその一環を担っていると思う。企画展も過去に何かで関係していた方、例えば
住友相撲は242名の見学者がいた。その内40名くらいの方が、番付表におじいさんが載っ
ていたというように関係があった。企画展の案を皆さんにお願いしたが、過去に皆さんが何か
関わりがあった人の多いものなどの観点で見てもらいたいと思った。

以上で、本日予定の議題は終了いたしました。その他で連絡事項などはありませんか。なけ
れば、本日は終了します。

(事務局)：また後日でもかまわないので、事務局までお知らせいただけたらと思います。

閉会